

日本医史学雑誌 第四十三卷第二号 目次

原 著

中原徳太郎・小此木信六郎・塩田広重・近藤達児の医学校の再建

—日本医学専門学校から日本医科大学昇格迄の困難な道程—

キナ樹皮渡来の伝説をめぐって、チンチョン伯爵夫人説とイエズス会説

古記録にみえる室町時代の患者と医療(二) —『言継卿記』永祿九年南向闘病記録から—

研究ノート

西洋、中国、日本のジフテリア史素描 その三 近代

広 場

インターネットにおける医史学

「健康」という語の創始者について

資 料

人痘法についてのメートランドの報告

追 悼

追悼 川喜田愛郎先生

記 事

消 息

宗田一先生合同追悼会

唐沢 信安……………二四

泉 彪之助……………二六九

水谷惟紗久……………一八七

中村 昭……………二二

ヴォルフガング・ミヒェル……………二四一

杉浦 守邦……………二四九

小田 泰子……………二五五

酒井 シヅ……………二七一

深瀬 泰且……………二七三

日本医学会への加盟申請についての公示	二七四
例会抄録	
山脇東洋の『外台秘要方』版行について	町 泉寿郎
紹介	二七五

フレデリック・F・カートライト著『歴史を変えた病』	今泉 孝
土屋雅春著『医者のみた福澤諭吉』	川 眞人
精神科医療史研究会編集『長山泰政先生著作集』	蔵方 宏昌

医史学文献目録	平成七(一九九五)年	順天堂大学医史学研究室編	二八四
---------	------------	--------------	-----

〈本号の表紙絵〉

新たに発見された W・ウィリスの写真

この写真は、1987年に群馬県桐生市の島家で発見された島 霞谷 (1827~1870年) 作品集の中の1枚である。96年秋に千葉県松戸市戸定歴史館が「幕末幻の油絵師・島 霞谷」展に際し作製したカタログに、外国人として掲載されているのを筆者が発見し、大滝紀雄、蒲原 宏両先生の鑑定を仰いでウィリアム・ウィリスと確定した。

新潟県上越市の瀬尾家に残されている1枚は、旧師の W・ウィリスから瀬尾玄弘医師に、明治2年8月2日に手渡された写真で、島家の写真と服装は同一であるが、カメラの角度がやや異なる。即ち、同一日の撮影で、霞谷が明治2年春から初夏までの間にウィリスを撮り(32歳の誕生記念か)、コピーを手元に残していたと考えられる。

当時、霞谷は一橋玄同(徳川^{もちほる}茂栄)公お抱えの写真師で、旧幕時代に公とハラタマを開成所で撮影している。彼は明治2年10月25日、大学東校の中写学生となっている。桐生は妻・隆の故郷である。

(中西 淳朗)